

2022年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2021年8月11日
福山通運株式会社
(9075)

1. 連結業績

(単位:百万円/%)

項目	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	68,832	71,669	2,836	104.1
営業費用	63,895	65,356	1,460	102.3
営業利益 (営業利益率)	4,936 (7.2)	6,312 (8.8)	1,375	127.9
経常利益 (経常利益率)	5,526 (8.0)	6,910 (9.6)	1,383	125.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,678	4,666	987	126.8

売上高 : 単価は前年並み、輸送量が増加
営業費用 : 人件費、燃料費、減価償却費が増加
営業利益 : 売上高の増加と外注費の抑制により増加

2. 営業費用

(単位:百万円/%)

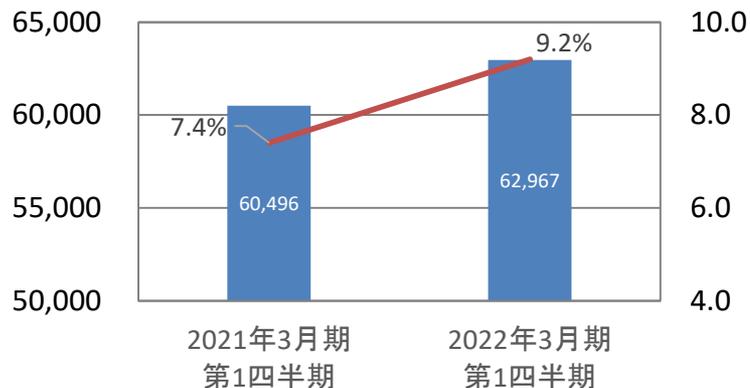
項目	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
人件費	30,590	31,589	999	103.3
物件費	22,277	22,006	△271	98.8
諸費	7,435	7,717	281	103.8
減価償却費	3,592	4,043	450	112.5
営業費用	63,895	65,356	1,460	102.3

人件費：運転者・業務員を中心とした採用により増加
 物件費：価格の高騰により燃料費は増加したものの、自社化の取り組みにより幹線・集配備車費が減少
 諸費：海上運賃の高騰により国際関係費用が増加
 減価償却費：車両の更新により車両の償却費が増加

3. 事業別売上高と利益率

(単位:百万円/%)

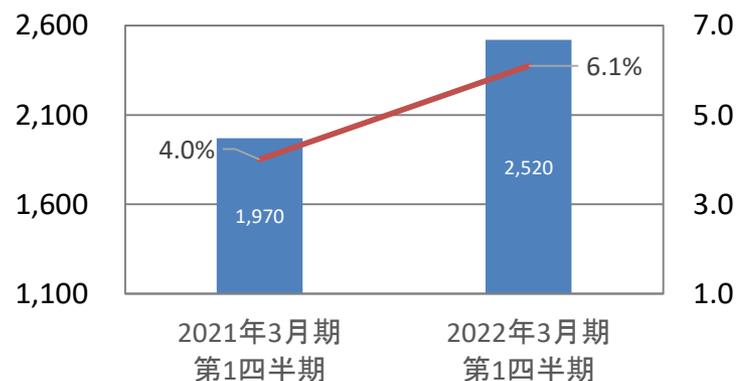
運送事業(ネットワーク・チャーター・引越など
当社グループの中核事業)



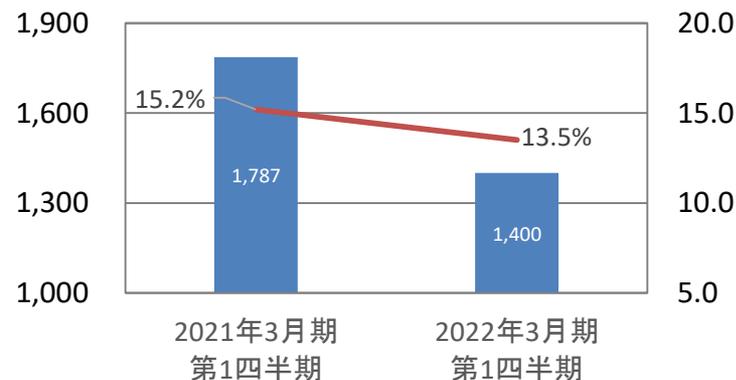
流通加工事業(貨物保管・物流加工)



国際事業(国際運送・国際利用運送
(フォワーディング)・通関など)



その他事業(不動産賃貸・商品販売・コンビニ・
ボウリングなど)



■ 売上高 ■ 利益率

4. 運賃是正と顧客構造改革

輸送4要素

(前年同期比/単位:%)

	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価
小口貨物	99.0	99.9	99.3
商業小口	102.2	102.7	100.3
商業貨物	101.4	98.4	100.3
重厚長大	101.0	103.6	99.7
全体	101.3	100.5	100.2

運賃占有率

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年 同期比
小口貨物	28.2	28.8	102.1
商業小口	24.8	24.6	99.2
商業貨物	22.6	22.6	100.0
重厚長大	24.4	24.0	98.4

重量占有率

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年 同期比
小口貨物	17.9	18.4	102.8
商業小口	23.9	23.7	99.2
商業貨物	27.3	27.3	100.0
重厚長大	30.9	30.6	99.0

* 当社の荷物分類定義

小口貨物:1件1個30kg以下

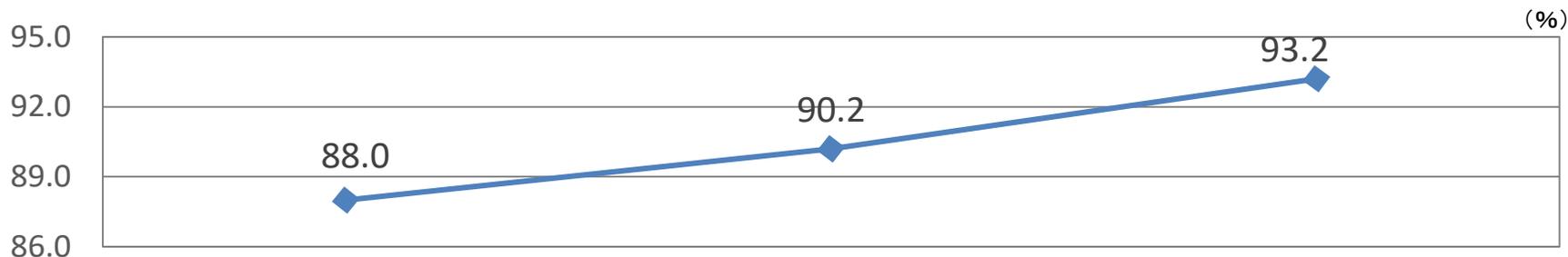
商業貨物:1件6個121kg以上

商業小口:1件5個120kg以下

重厚長大:1個100kg以上または1件500kg以上

5. 運行便指標の推移

■ 運行便自社化率



■ 輸送能力(車両1台あたりの積載量)



■ 運行便積載率



6. 2022年3月期 連結業績予想

(単位:百万円/%)

項 目	2021年 3月期実績	2022年 3月期予想	前期比
売 上 高	285,518	289,500	101.4
営 業 利 益 (営 業 利 益 率)	21,145 (7.4)	21,300 (7.4)	100.7
経 常 利 益 (経 常 利 益 率)	22,466 (7.9)	21,900 (7.6)	97.5
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	15,320	15,600	101.8